



# 教育支援センターだより

12月号 令和5年度 第9号  
令和5年 12月18日発行(通算165号)

花かおり  
緑あふれ  
人輝くまち  
こうのす



- 教育相談事業
- 適応指導教室事業
- 特別支援教育事業
- 研修事業
- 家庭地域連携事業

## 鴻巣市立教育支援センター

〒365-0004 鴻巣市関新田1281番地1  
TEL 048-569-3181  
FAX 048-569-1773



### やわらかな心に目を向けよう

スクールソーシャルワーカー 白石 明子



令和5年5月。私たちの生活を大きく変容させた新型コロナウイルスへの対応が、大きく転換しました。基本的な感染対策は個人の判断に委ねられ、マスクを外して人前に出ることも増えたのではないのでしょうか。数年ぶりに届き始めた様々な行事の案内に、かつて疑うことなく送っていた日々の再来を感じた方も少なくないと思います。しかしながら、街が活気づき始めた一方で、「学校に行く気力がない」、「やりたいことが見つからない」という子どもたちが増えているように思います。

3年前、学校が突然の臨時休業となり、ようやく再開された後もマスクをして密を避けるという制約が続きまといました。それでも、子どもたちは、思いのほか緊急事態にも順応できていたように見えたかもしれません。ところが、内面は決して穏やかではなく、諸行事の中止にしても「当たり前だったことを思うようにやれなかった」という一時的なやるせなさとして見逃してよい話ではありません。対面で顔を見て話すこと、触れ合うことを止められたことにより関係を築き深める機会を奪われたのは、誰にとっても大きな痛手となりました。さらに、いつ終わるともしれない自粛要請への疲れや感染症への不安は、精神的な負担となって蓄積されました。そのような生活の中で、子どもたちが得られなかったものとは何でしょうか。

以前の子どもたちは、友達や学校の先生と関わることで、勉強だけでなく気持ちの伝え方、喜び合う力、なりたい自分をイメージする力を得てきました。相手の表情から言葉以上の心情を察するコミュニケーションを通して、心をより成長させることができました。そうすることで人の輪のなかに自分の居場所を見つけ、安心感を得て、未来にチャレンジする意欲を育むことができたのです。コロナ禍による、こうした経験の乏しさが成長過程である子どもたちの心にどのように影響したのかは、彼らを見守る私たち大人が考え続けなければならない課題であるように思います。

現在、生活のスタイルは変化しつつあります。コミュニケーションの様式も、オンラインの導入が進むことで更に進化を遂げています。大人はこれまでの経験をもとに臨機応変に受け入れることができるかもしれませんが、しかし、子どもたちの心は大人よりもやわらかく、時に思いがけない傷を負うこともあります。子どもたちをそっこのけにして、大人だけが前を向いて進んでいくことのないように意識することが、子どもを育む支援の第一歩なのではないでしょうか。

### Let's 今年のアルファベット

年の瀬にあたり、教育支援センターの1年間を、「今年の漢字」ならぬアルファベットで表してみました。今年も多くの皆様にお世話になり、大変ありがとうございました。皆様、どうぞ良い年をお迎えください。



- センターに開設している適応指導教室の愛称を、今年から“Let's教室”としました。
- Let's教室に通う児童生徒が収穫したジャガイモ・サツマイモ・ダイコンは、みんな大豊作でした。形も良く、中にはびっくりするほどの“Lサイズ”も。
- 電話や来所等によるご相談を、たくさんお受けしました。お一人お一人、“Hear”(聞く)ではなく“Listen”(傾聴)の姿勢で伺いました。
- 干支の交替を惜しむかのように、野ウサギがセンター入り口付近までやって来て“Lovely”な姿を見せてくれました。



### 11月の相談状況 330件

相談内訳	R5. 11月	R5. 10月
電話	124	100
相談員等の学校等への訪問	105	253
相談者来所	101	98
主な相談者別内訳		
年長児保護者	78	29
小学生保護者	52	60
小・中教職員	48	39
未就学児	40	193
中学生保護者	27	42
主な相談内容		
不登校	88	90
性格・行動	73	192
就学	71	66
特別支援	46	54



### ウイング・ステップ担当者研修会 12/8(金)

年間4回の研修会を実施しており、今回が3回目となります。ケーススタディにより効果的な支援の在り方について検討・協議した後、講師の先生からご指導をいただきました。

### シリーズ 0歳～15歳までの一貫した教育の推進 通級指導教室

通級指導教室は、その子の話し方や聞こえ方、学び方、周囲との関わり方等に応じた学習支援を行います。普段通学している学校に在籍しながら、保護者の送迎により週に1～2回ほど通級して学びます。全ての児童生徒が、将来の自立と社会参加に向けて楽しく充実した毎日を送れるよう、通常学級のほか、特別支援学校、特別支援学級、そして通級指導教室といった、一人一人の特性と教育的ニーズに応じた多様な学びの場が設けられています。

令和5年度現在、鴻巣市の通級指導教室は、次のとおり小学校に5教室、中学校に2教室が開設されています。

#### 【ことばの教室】(難聴・言語障がい)

鴻巣東小・吹上小  
<59> <42>

#### 【ウイング】(発達障がい・情緒障がい)

鴻巣南小・赤見台第二小・吹上小  
<27> <28> <18>

#### 【ステップ】(発達障がい・情緒障がい)

鴻巣中・赤見台中  
<15> <5>

※ < >は、令和4年度に通級した児童生徒数。



#### 入級までの流れ

- ・保護者との面談で通級への入級希望を確認する。
- ・必要に応じて、校内委員会で検討する。

- ・管理職が教育支援センターへ連絡する。

ウイング・ステップ (発達・情緒)  
該当校にて、教育支援センター担当者や通級指導教室担当者による入級審査(該当児童生徒の観察等)を行う。

ことばの教室 (難聴・言語)  
ことばの教室にて、教育支援センター担当者や通級指導教室担当者、児童及び保護者と相談を行う。

- ・指導・支援の各段階で、学校訪問や担当者・学級担任と情報共有し、連携する。

### 12・1月の行事予定

月	日	曜	行事
12	8	金	ウイング・ステップ担当者研修会
	12	火	教育相談担当者及びさわやか相談員等連絡会議
	15	金	Let's教室 2学期終業式・保護者会
	21	木	まなびの教室 14:00
1	16	火	Let's教室 3学期始業式
	17・18	水木	県立特支高等部職業学科・分校入学選考
	18	木	まなびの教室 14:00
	23	火	Let's教室 トレーニング(かわさと館)

※予定は、都合により変更になる場合があります。

### Let's教室 2学期末の体験活動 & 終業式 12/15(金)



花壇植え替え



だいこん収穫



二胡の演奏体験



終業式

